

ワキ汗がひどくて服に広範囲にシミがつきます 原発性腋窩多汗症かもしれません

中野皮膚科クリニック

<http://www.nakano-derma.com/>

夏、電車のつり革を持つときなど、洋服のワキがぬれてシミになり、恥かしい思いをした経験はだれにもでもあるもの。しかし、汗が大量に出て広範囲に広がってしまい、日常生活にも支障がでる場合は、多汗症の疑いがあります。重度のワキ汗について、中野皮膚科クリニックの松尾光馬院長に症状や治療法を聞きました。

「病気などの原因がないのにワキに多量の汗がでる場合、多汗症か」といいます。多汗症では、手足や顔に多量の汗をかくケースもありますが、特に多いのがワキです。ワキにはエクリン汗腺とアポクリン汗腺の2種類があります。体温調節を担うエクリン汗腺からの汗が必要以上に多いのが多汗症です」

「どんな治療法がありますか？」

「まずは塩化アルミニウム液（自由診療・30ml 1200円）の外用薬を使用します。塩化アルミニウムが皮膚の成分と結合して汗腺をふさぎます。最初は毎日、効果が出始めたなら2、3日に1回のペースで塗布していきます。それでも治らない場合は、A型ボツリヌス毒素注射による治療法も選択肢の一つとなります。これは2012年11月から保険が適用されるようになりました。ワキに直接注射して、交感神経から汗腺への刺激伝達をブロックします。効果は4〜9カ月程度持続します。このような治療に反応しない場合には内服薬による治療を追加することもあります。気になる場合は一度、皮膚科を受診しましょう」



Tシャツがびしょりになる、洋服の汗じみがひどく外出がうっとうしくなる、営業や接客の仕事に集中できなくなるなどであれば、皮膚科を受診してみましよう

中野皮膚科クリニック (マルニビル5階)



問い合わせ
中野皮膚科クリニック
中野区中野2-30-3、マルニビル5階。中野駅南口徒歩2分
☎03-5342-0722

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30 ~ 13:00	○	○	○	○	○	○
15:00 ~ 19:00	○	○	○	○	○	17:00 まで受付

休診日:日曜、祝日

院長:松尾光馬 日本皮膚科学会皮膚科専門医、医学博士。東京慈恵会医科大学医学部卒業、同大附属病院皮膚科非常勤講師

2015年7月18日付 「リビング東京副都心」に掲載されました